

皆さん、こんにちは。

本日はお忙しい中、沖電気工業株式会社の２０２６年度第２四半期の決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

目次

1 2026年度 第２四半期決算概要

2 2026年度 業績予想

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

本日の内容はこちらのとおりです。

説明のポイント

OKI

1．2026年度 上期業績

- 年度業績目標の達成に向けて、全体としてはほぼ計画に沿って推移中

2．2026年度 通期業績予想

- 10月1日に発足した自動化機器事業合弁会社の効果を織り込み、期初予想から、売上高を600億円、営業利益を30億円、それぞれ上方修正

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

本日の説明のポイントです。

2026年度上期は、事業毎に多少の濃淡はありますが、全体としては、年度業績目標の達成に向けて、ほぼ計画どおりの進捗となりました。

売上高は、パブリックソリューションが全体を牽引して、対前年同期で増収となりました。営業利益については、半導体メモリなどの部材調達の影響はあるものの、年度目標の達成に向けて順調に進捗しています。

通期の業績予想については、10月1日付で発足した日立製作所とのATM等の自動化機器事業の統合効果を織り込み、売上高を+600億円、営業利益を+30億円、期初予想からそれぞれ上方修正しました。



上期決算の概要を説明します。

1 2026年度上期　決算概要

- **前年度比増収。営業利益は、サプライチェーン影響がある中でも、ほぼ想定どおりに進捗**
- **「セカンドキャリア支援制度特別措置」に伴う特別退職金を計上**

（単位：億円）	25年度 1Q	26年度 1Q	対前年 増減差	25年度 2Q	26年度 2Q	対前年 増減差	25年度 上期	26年度 上期	対前年 増減差	対前年 増減率
売上高	851	**861**	＋10	943	**1,025**	＋82	1,794	**1,886**	＋92	（＋5%）
営業利益	△14	**△19**	△5	26	**9**	△17	12	**△10**	△22	－
営業利益率(%)	*(△1.6%)*	***(△2.2%)***	*(△0.6%)*	*(2.7%)*	***(0.9%)***	*(△1.8%)*	*(0.7%)*	***(△0.5%)***	*(△1.2%)*	
経常利益	△16	**△15**	＋1	25	**△3**	△28	9	**△18**	△27	－
特別利益 *1	0	**51**	＋51	12	**22**	＋10	12	**73**	＋61	（＋508%）
特別損失 *2	0	**0**	0	7	**101**	＋94	7	**101**	＋94	（＋1,343%）
親会社株主に帰属する当期純利益	△16	**25**	＋41	22	**△60**	△82	6	**△35**	△41	－

*1　26年度上期　特別利益（73億円）　：投資有価証券の売却益
*2　26年度上期　特別損失（100億円）：セカンドキャリア支援制度特別措置に伴う特別退職金

平均レート	25年度	26年度
USD	146.0円	159.4円
EUR	168.1円	184.4円

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

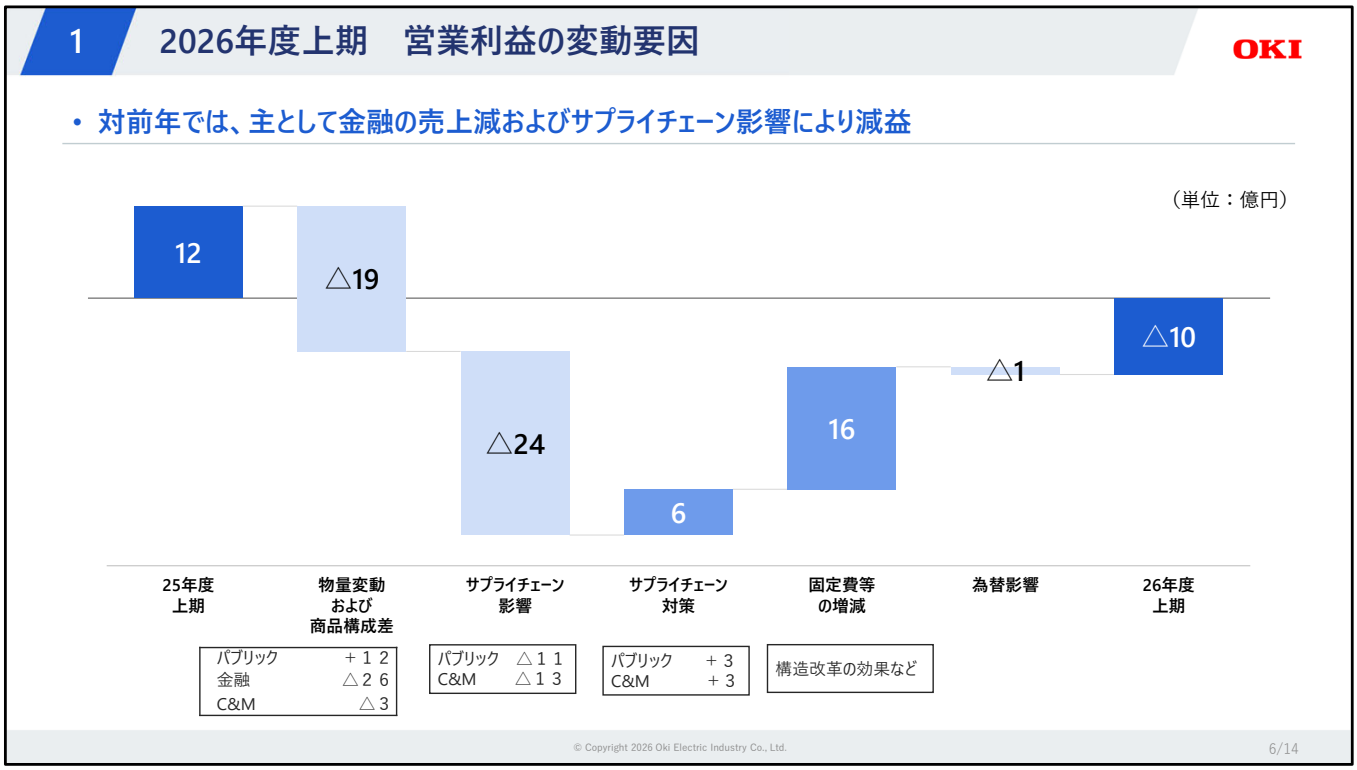
2026年度上期は、売上高1,886億円、営業損失10億円、経常損失18億円、親会社株主に帰属する当期純損失35億円となりました。

部材価格の高騰などサプライチェーン影響が継続したことなどから、上期の営業利益、および経常利益は前年同期を下回りましたが、四半期ベースの営業利益は、第１四半期の△19億円から第２四半期には9億円へと改善しました。第２四半期は、物量の増加および売価の適正化により、前年同期対比で+9%程度の増収となったことが、営業利益の改善に寄与しています。

上期には、特別利益として、政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券の売却益73億円を計上する一方で、特別損失として、人的資本の適正化に向けた「セカンドキャリア支援制度の特別措置」による特別退職金100億円の計上を行いました。

なお、当該特別措置による来年度以降の固定費に与える効果としては、年間で60億円程度の削減を見込んでいます。

年度業績目標の達成に向けて、全体としてほぼ計画に沿って進捗しています。



続いて、上期の営業利益の変動要因です。

『物量変動および商品構成差』が△１９億円。その内訳としては、前年同期にあった大型のATM更改案件の反動の影響などで「金融ソリューション」が△２６億円の減益となる一方で、「パブリックソリューション」が＋１２億円の増益となりました。

「パブリックソリューション」内の事業別では、「社会インフラ」は昨年度までの消防の需要一巡を主因に減益となりましたが、「ディフェンスシステム」の牽引や、「ネットワークインフラ」における通信キャリア向け通信機器案件の取り込みにより、パブリックセグメント全体では増益となりました。

半導体メモリーの高騰などの「サプライチェーン影響」については、価格動向を踏まえた先行手配や売価への転嫁などの対策を進めています。上期は、サプライチェーン影響が24億円、打ち返しが上期時点では6億円となり、営業利益を18億円押し下げる要因となりました。売価の適正化を強力に押し進めるなど、影響の抑制に取り組んでいます。

「固定費等の増減」は、16億円の良化となりました。前年度にプリンター事業の開発・生産機能をエトリア社に統合した効果に加え、諸々のコスト構造改革の効果が着実に表れています。

以上が、上期の営業利益の変動要因についての説明です。

1 セグメント別 パブリックソリューション

OKI

- ディフェンスシステム事業、ネットワークインフラ事業が大きく伸長。社会インフラソリューション事業での需要減をカバーし、増収増益

（単位：億円）	25年度 上期	26年度 上期	対前年 増減差	対前年 増減率	25年度 通期実績	26年度 前回予想 5月13日公表	26年度 今回予想 11月5日公表（修正なし）	対前年 増減差	対前年 増減率
売上高	**534**	**635**	**+101**	**（+19%）**	**1,464**	**1,470**	**1,470**	**+6**	**（+0%）**
ディフェンスシステム	179	222	+43	（+24%）	515	555	555	+40	（+8%）
社会インフラソリューション	239	229	△10	（△4%）	662	575	575	△87	（△13%）
ネットワークインフラ	117	185	+68	（+58%）	287	340	340	+53	（+18%）
営業利益	**31**	**36**	**+5**	**（+16%）**	**203**	**180**	**180**	**△23**	**（△11%）**
営業利益率(%)	*(5.8%)*	*(5.7%)*	*(△0.1%)*		*(13.9%)*	*(12.2%)*	*(12.2%)*	*(△1.7%)*	

＊26年度からの開示事業セグメントの変更に基づき、25年度実績は組み替えを行っています。

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

次に、セグメント毎に概況を説明します。

まず、「パブリックソリューション」です。

上期の売上高は、前年同期比で+101億円増加し635億円。営業利益は36億円となり、前年同期比では+5億円の増益となりました。

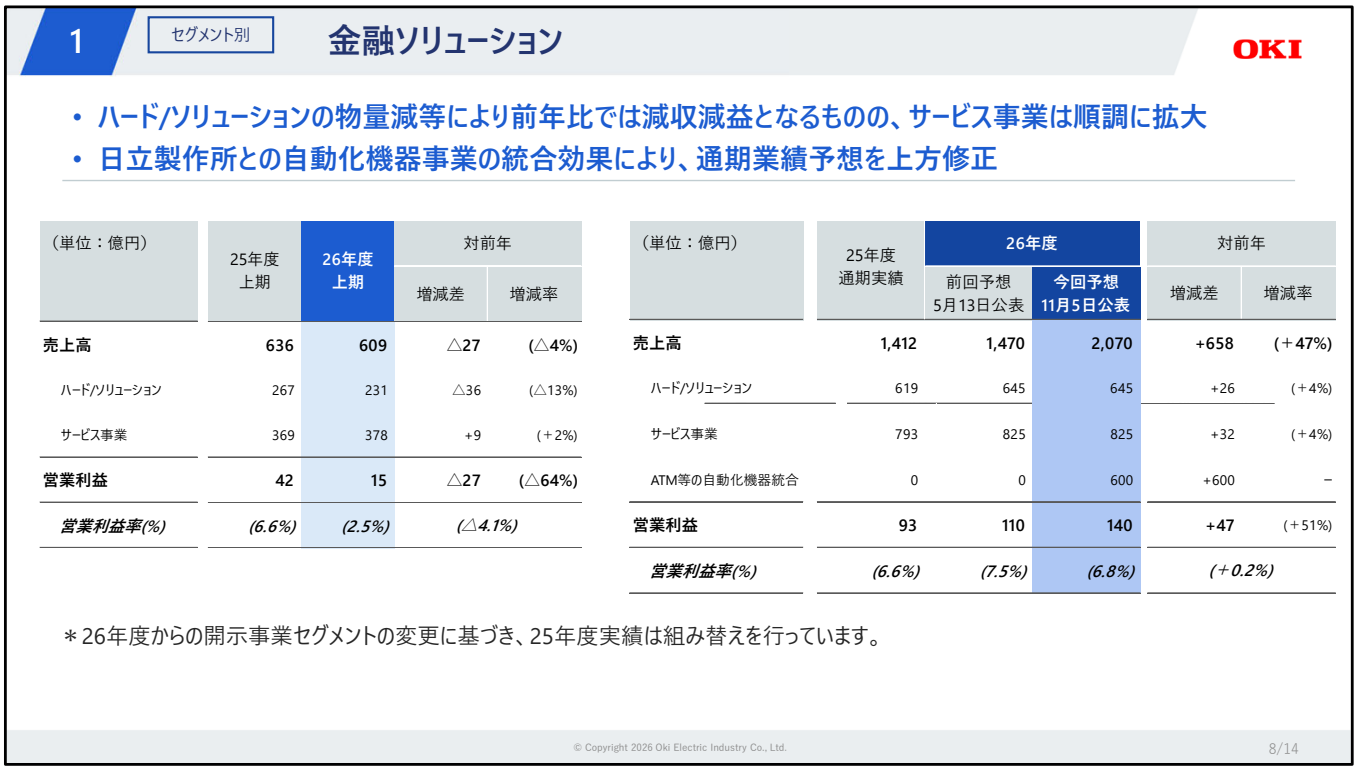
「ディフェンスシステム」は、防衛需要の拡大を背景に、水中音響（ソーナー）を中心に前年同期比で+43億円（+23%）の増収。

「社会インフラ」は、昨年度までの消防の需要が一巡し、消防の売上が大きく減少したことを主因に減収となりました。

また、「ネットワークインフラ」は、通信キャリア向け通信機器案件の拡大などにより、前年同期比で+68億円（+58%）の増収となりました。

営業利益についても、「ディフェンスシステム」と「ネットワークインフラ」の事業の伸長が、「社会インフラ」（特に消防）の落ち込みをカバーし、増益となりました。

通期業績予想に変更はありません。年間目標の達成に向けて、順調に推移しています。



次に、「金融ソリューション」です。

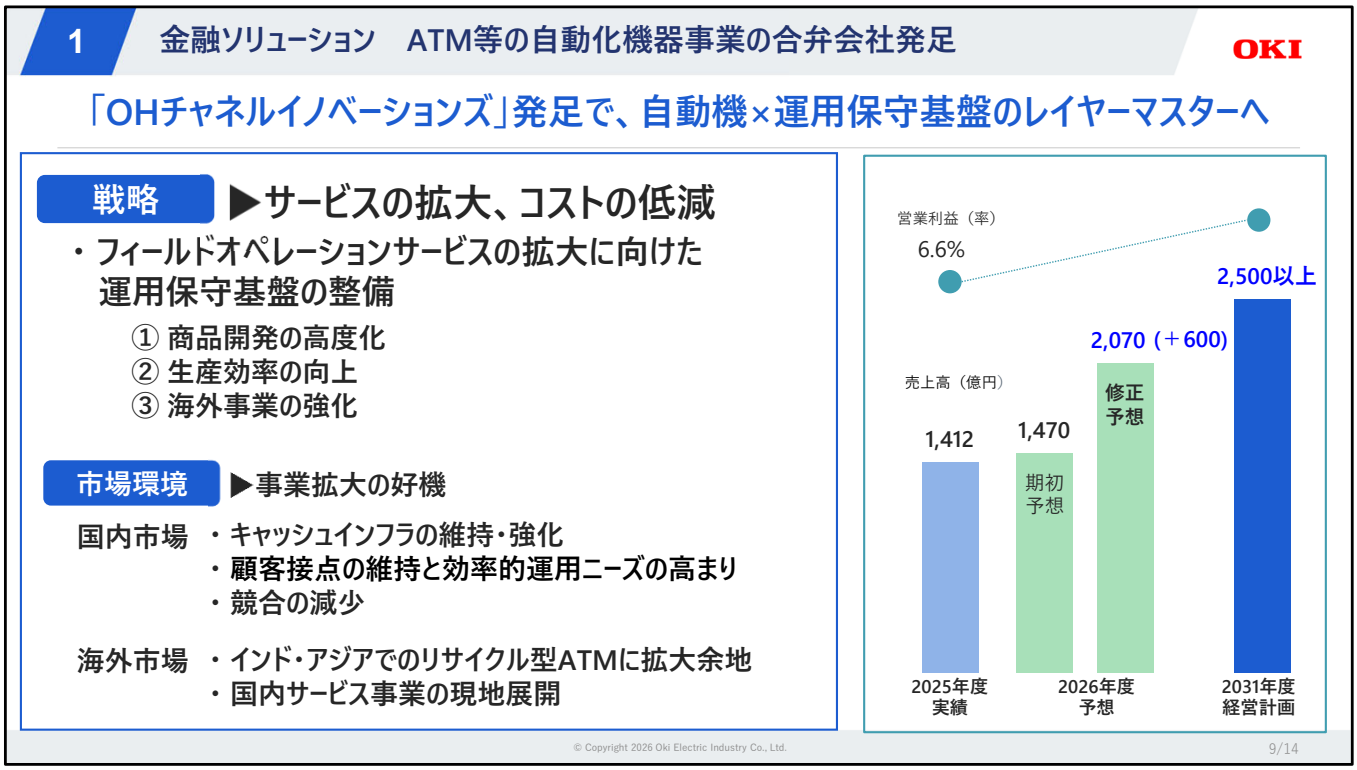
上期の売上高は609億円となり、前年同期比で27億円の減収。営業利益は15億円となり、前年同期比では27億円の減益となりました。

「ハード／ソリューション」では、（これは期初から想定されていたものですが）前年同期にあった大型のATM更改案件などの反動の影響により国内売上高が減少、その一方で海外売上高は増加するなど、売上構成の変化に伴い利益率が低下しました。

「サービス事業」においては、富士通からの保守受託案件は順調に立ち上がっており、売上は概ね想定どおりに拡大しています。

日立製作所とのATM等自動機事業の合弁会社「OHチャネルイノベーションズ」は、予定どおり本年10月1日に発足しました。

これを踏まえ、2026年度の業績予想については、売上高は、600億円上方修正し、2,070億円。営業利益は、合弁会社設立に伴う一過性の費用等を織り込み、30億円上方修正した140億円としています。



「金融ソリューション事業」について、OHチャネルイノベーションズの発足に伴う、今後の事業展開の方向性について簡単に触れさせていただきます。
当該JVの発足を梃子に、①商品開発の高度化、②生産効率の向上、③海外事業の強化、によって、2031年度には売上高を2,５00億円以上に、また、営業利益率も足元の水準より数パーセント高める方針であり、まさに今その事業計画の策定に入ったところです。

フィールドオペレーションサービスに関しては、これまでの保守やコールセンター中心のビジネスから、フルアウトソーシングビジネスへの拡大を図ります。

当社発足の直後から事業戦略の検討に着手し、現在、具体的な計画の策定を進めています。
成長の実現に向けた戦略等については、12月初旬に開催する事業戦略説明会で説明させていただく予定です。

1 セグメント別

コンポーネント＆マニュファクチャリング

OKI

- アドバンストコンポーネント事業では、PCBとケーブルが業績を牽引。また、CFB量産化に向けた社内体制の構築を完了。下期中に量産化フェーズに入る予定
- コンポーネントプロダクツ事業は構造改革影響により減収。また、EMS事業は需要改善で増収

（単位：億円）	25年度上期	26年度上期	対前年 増減差	対前年 増減率	25年度通期実績	26年度 前回予想 5月13日公表	26年度 今回予想 11月5日公表（修正なし）	対前年 増減差	対前年 増減率
売上高	**600**	**628**	**+28**	**(＋5%)**	**1,294**	**1,390**	**1,390**	**+96**	**(＋7%)**
アドバンストコンポーネント	158	204	+46	(＋29%)	339	380	380	+41	(＋12%)
コンポーネントプロダクツ	322	294	△28	(△9%)	681	660	660	△21	(△3%)
EMS	120	129	+9	(＋8%)	274	350	350	+76	(＋28%)
営業利益	**△7**	**0**	**+7**	**－**	**19**	**50**	**50**	**+31**	**(＋163%)**
営業利益率(%)	***(△1.2%)***	***(0.0%)***	***(＋1.2%)***		***(1.5%)***	***(3.6%)***	***(3.6%)***	***(＋2.1%)***	

＊26年度からの開示事業セグメントの変更に基づき、25年度実績は組み替えを行っています。

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

最後に、「コンポーネント＆マニュファクチャリング」です。

上期の売上高は628億円となり、前年同期比で+28億円の増収。営業損益は前年同期比でプラス7億円と、損益イーブンまで改善しました。

「アドバンストコンポーネント事業」では、AI関連半導体市場向けのプリント配線板（PCB）、およびFA・ロボット市場向けのケーブルが、昨年度来、需要が回復している流れの中で、足元の需要は旺盛で、前年同期比+46億円の増収となりました。

また、「コンポーネントプロダクツ事業」が、欧州拠点の閉鎖等の構造改革の影響もあって減収となった一方で、「EMS事業」は、在庫調整が一段落した主要顧客からの受注再開や、産業インフラ・工作ロボット市場向けの、前年度に獲得した案件の量産化等により増収となっています。

これらの結果、セグメント全体の売上高・営業利益ともに、概ね想定どおりに推移しています。

通期業績予想に変更はありません。

1 2026年度におけるセグメント別取り組み

- 経営計画２０３１の初年度として、守りから攻めへの経営シフトを確実に進めるべく、セグメント毎に重点テーマに取り組む

セグメント	2026年度の重点テーマ	上期進捗状況	下期取り組み
パブリックソリューション	• 防衛需要増への対応（生産能力増強） • 海外装備品移転への積極対応 • 通信機器、大規模自営ネットワーク事業の取り込み	• 豪州次期汎用フリゲート艦案件を受注 • HGW/ONU案件の拡大により、NW事業の上期売上は前年同期比68億円(+58%)増	• 防衛関連の維持管理ビジネスの強化に向けた営業拠点の増設を準備 • NW事業では、新商品の展開と新規顧客の開拓を進め、受注拡大を図る
金融ソリューション	• 日立製作所との事業統合を梃子にしたATM、保守運用、サービスの一体での強化	• 10月1日付でOHチャネルイノベーションズ（OHCI）発足	• OHCI発足を梃子に、ATMから保守運用までのフィールドオペレーションサービス拡大に向けた計画を策定
コンポーネント＆マニュファクチャリング	• CFB量産立上げ、および高成長市場向け製品（PCB、ケーブル）の展開・拡販 • プリンター事業におけるエトリア統合効果、および商品拡充によるストック収益の拡大 • EMS事業における既存顧客の受注拡大、および新規顧客の受注獲得への注力	• CFB量産化に向けた社内体制を構築 • PCB・ケーブルの上期売上は、前年同期比47億円(+30%)増 • 新商品ラインアップにより、海外複合機プリンター市場に再参入 • 産業機器の新規案件獲得と工作機器・ロボット市場の需要増で生産拡大	• CFB量産案件を確保済。下期に量産化を開始 • PCB・ケーブルは、売上拡大に注力 • 国内で複合機プリンターの販売を再開、既存製品の改良機も投入し販売拡大へ • 受注済案件の本格量産を進め、産業機器向けの生産規模を拡大

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

続いて、今年度のセグメント別の取り組み、重点テーマの進捗状況について説明します。

まず、「パブリックソリューション」の防衛では、正式受注した豪州次期フリゲート案件への対応を着実に進めています。また、下期には新規拠点開設を含め維持管理ビジネスの強化に取り組みます。

「ネットワークインフラ」では、通信キャリアのアナログからIP化へのマイグレーション対応に伴うアクセス端末などの需要（HGW/ONU案件）を着実に取り込むと同時に、新商品の展開と新規顧客の開拓を進めます。

「金融ソリューション」は、OHチャネルイノベーションズの発足を機に、ATM、保守運用、サービスの一体運営を強化すべく、フィールドオペレーションサービス拡大に向けた詳細計画を策定します。

「コンポーネント＆マニュファクチャリング」の「アドバンストコンポーネント」におけるCFBの量産化は、年度内の立上げに向けて予定どおりに進捗しています。
また、プリント配線板で、AI半導体や航空宇宙向けの新規開拓を進めるとともに、ケーブル事業では、FA・ロボット市場向けの需要の取り込みに引き続き注力します。

「コンポーネントプロダクツ」では、エトリアとの連携により複合機プリンター市場に再参入し、販売拡大を目指すとともに、「EMS」は、受注済み案件の本格量産を進めます。両事業とも、引き続き構造改革に取り組み、事業基盤の強化に注力します。

2 2026年度 業績予想

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

２０２６年度の通期業績予想です。

2 サプライチェーン影響のリスクと対応

OKI

- 部材価格高騰の影響はあるものの、売価の適正化などの諸対策を実行中

事業環境認識		想定リスク	当社の対応と業績影響
半導体メモリおよび関連製品	価格高騰	部材価格上昇による原価増	・価格高騰の影響は拡大するも、売価の適正化などの対策を実行中 （上期営業利益への影響額は△18億円）
	需給逼迫	調達期間の長期化による納期遅延	・取引先との交渉強化、代替品の調達拡大 ・使用部材の標準化を推進中
中東情勢の不安定化		工場生産部材・間接材料の納入遅延	・重要部材の先行手配、および代替え対策の継続により、影響は軽微

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

まず、サプライチェーン影響によるリスクと対応について触れさせていただきます。

半導体メモリやサーバー等の調達については、価格高騰と需給逼迫を踏まえて先行手配や売価の適正化などを進めています。

上期には営業利益ベースで18億の収益押し下げがありました。年間での影響額は△30億円程度と見込んでおり、売価の適正化に加えて、取引先との交渉、代替品の調達の拡大や、使用部材の標準化を進める等、業績への影響を極小化すべく各種施策を実行中です。

なお、中東情勢による業績への影響は、軽微な見通しです。

2 2026年度 業績予想

OKI

- **金融ソリューションにおける自動化機器事業の統合（OHCI発足）効果を織り込み、売上高、営業利益等を上方修正**

（単位：億円）		25年度 通期実績	2026年度 前回予想 5月13日公表	2026年度 今回予想 11月5日公表	対前年 増減差	対前年 増減率	対前回予想 増減差	対前回予想 増減率
パブリック ソリューション	売上高	1,464	1,470	1,470	＋6	（＋0%）	±0	（±0%）
	営業利益	203	180	180	△23	（△11%）	±0	（±0%）
	営業利益率	(13.9%)	(12.2%)	(12.2%)	（△1.7%）		（±0.0）	
金融 ソリューション	売上高	1,412	1,470	2,070	＋658	（＋47%）	＋600	（＋41%）
	営業利益	93	110	140	＋47	（＋51%）	＋30	（＋27%）
	営業利益率	(6.6%)	(7.5%)	(6.8%)	（＋0.2%）		（△0.7%）	
コンポーネント＆ マニュファクチャリング	売上高	1,294	1,390	1,390	＋96	（＋7%）	±0	（±0%）
	営業利益	19	50	50	＋31	（＋163%）	±0	（±0%）
	営業利益率	(1.5%)	(3.6%)	(3.6%)	（＋2.1%）		（±0.0）	
その他	売上高	47	70	70	＋23	（＋49%）	±0	（±0%）
	営業利益	△16	△10	△10	＋6	-	±0	（±0%）
消去・本社費	営業利益	△109	△110	△110	△1	-	±0	（±0%）
連結合計	売上高	4,216	4,400	5,000	＋784	（＋19%）	＋600	（＋14%）
	営業利益	188	220	250	＋62	（＋33%）	＋30	（＋14%）
	営業利益率	(4.5%)	(5.0%)	(5.0%)	（＋0.5%）		（±0.0）	
	経常利益	208	220	230	＋22	（＋11%）	＋10	（＋5%）
	当期純利益	215	180	180	△35	（△16%）	±0	（±0%）
1 株当たり配当金(円)		65	65	65	±0	（±0%）	±0	（±0%）

＊26年度からの開示事業セグメントの変更に基づき、25年度実績は組み替えを行っています。

平均レート	25年度実績	26年度予想
USD	150.8円	157.9円
EUR	174.8円	182.3円

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

２０２６年度業績予想の修正について説明します。

売上高は、期初予想から+600億円上方修正し、5,000億円に見直します。また、営業利益は+30億円増の250億円に、経常利益は+10億円増の230億円に、それぞれ上方修正します。

「金融ソリューション」における自動化機器事業の合弁会社OHCI発足の効果を織り込み、売上高、営業利益、経常利益を上方修正しました。

なお、当期利益については、営業外収支及び特別損益を保守的に見積もり、現時点では期初予想180億円を据え置いています。

経営計画２０３１の初年度として、「守りから攻めへ」の経営シフトを着実に進め、年度業績目標の達成に向けて注力してまいります。



最後に、「事業戦略説明会」開催のご案内をさせていただきます。

・自動化機器の合弁会社の発足を梃子に事業規模拡大と収益率の向上を目指す「金融ソリューション事業」
・防衛需要の拡大や海外装備品移転に積極的に対応していく「ディフェンスシステム事業」
・PCB、ケーブルなど部品事業を強みに、CFB技術で光電融合市場やGaNパワー半導体市場での事業化を加速する「アドバンストコンポーネント事業」

これらについて、「コア事業の革新」、および「高成長市場への挑戦」に向けた戦略を、各事業責任者から説明させていただきます。

なお、開催のご案内等の詳細は、弊社担当者から、別途、ご連絡させていただきます。

以上で、２０２６年度第２四半期決算、および２０２６年度の業績予想の説明とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

補足資料

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足資料　目次

1. セグメント　補足資料
   - 2026年度からの開示セグメント（主な変更点）
   - 事業戦略　セグメント構成
   - 生産拠点一覧及び増強計画
   - OHチャネルイノベーションズ　事業統合の背景・目的・会社概要
   - ディフェンスシステム事業　／　アドバンストコンポーネント事業
   - 各セグメントの主な製品およびサービス　／　上期の主なトピックス（プレスリリース）
2. 2026年度 上期及び業績予想　補足資料
   - 政策保有株式縮減の状況
   - セグメント別売上高/営業利益（四半期別推移）
   - 2026年度 上期： パブリックソリューション　確保高
   - 2026年度 上期： B／S流動・固定内訳、キャッシュ・フローの概要、投資
   - 2026年度 業績予想
3. 過年度　補足資料
   - セグメント別売上高内訳（四半期別推移）
   - 主要KPIの推移（年度別）

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

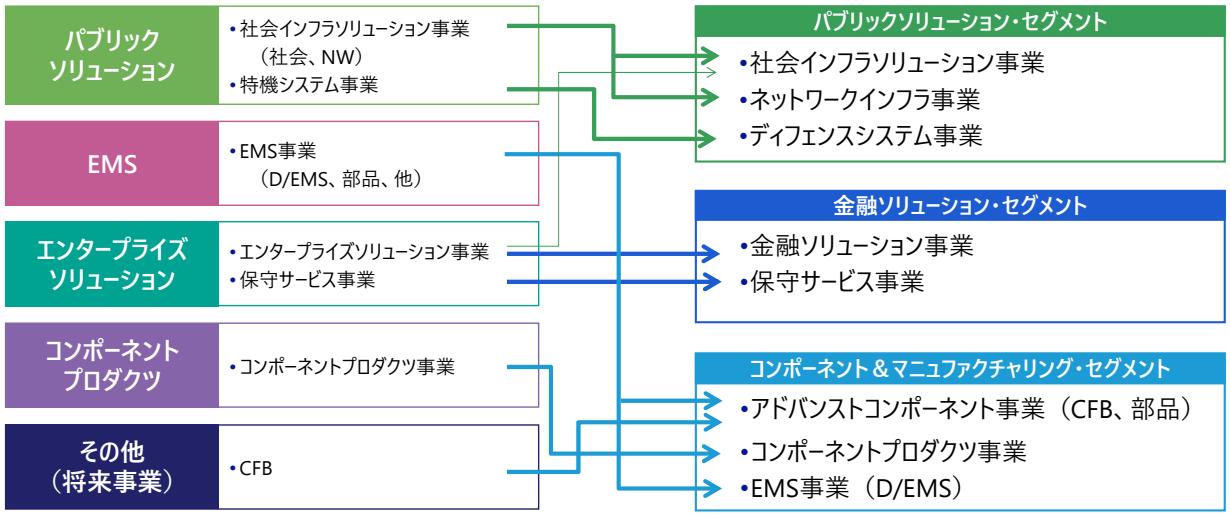
補足1

2026年度からの開示セグメント（主な変更点）

（2026年度第１四半期決算説明資料　再掲）

開示セグメントの見直し

- パブリック、金融の戦略市場での競争力強化
- モノづくりにおける構造改革の推進と成長市場での飛躍

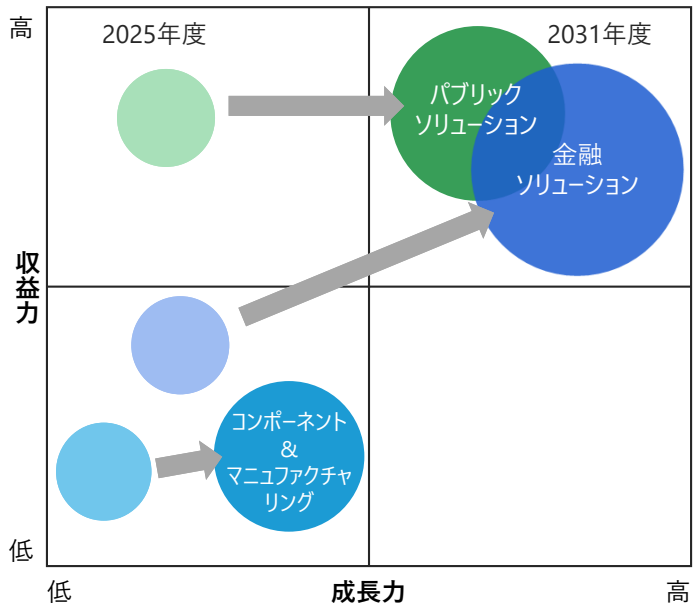


© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足1

事業戦略　セグメント構成

（2026年度第１四半期決算説明資料　再掲）



パブリックソリューション・セグメント

規模拡大

日本政府の成長分野に連動し、
高収益性を維持しながら成長する

金融ソリューション・セグメント

規模＆収益力拡大

レイヤーマスター戦略で成長＆収益力
UPを実現する

コンポーネント＆マニュファクチャリング・セグメント

構造改革

アドバンストコンポーネント事業が
牽引する形への転換する

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足1

生産拠点一覧及び増強計画

OKI

- OHチャネルイノベーションズ（ATM合弁会社）発足により国内外の生産ネットワークを拡充

OHチャネルイノベーションズ

【国内生産拠点】
OKI富岡マニュファクチャリング（群馬県富岡市）
OHCIターミナルメカトロニクス（愛知県尾張旭市）

【海外生産拠点】
OKI VIET NAM CO., LTD.（ベトナム）
Hitachi Terminal Solutions India Private Limited（インド）

ATM
現金処理機

OKIサーキットテクノロジー

アドバンストコンポーネント事業
・高付加価値PCBの生産工場

プリント
配線板

OKI本庄工場

社会インフラソリューション事業
ネットワークインフラ事業
コンポーネントプロダクツ事業（IoT）
EMS事業
・様々な製品を製造するモノづくり拠点

OKI沼津工場

ディフェンスシステム事業
・新棟建設中
2027年12月頃稼働予定

ソーナー
ソノブイ

OKI西横手工場

アドバンストコンポーネント事業
・FY26 CFB量産準備中

CFB

OKI電線

アドバンストコンポーネント事業
・高品質ケーブルの生産工場

ケーブル
FPC

OKI小峰工場

ディフェンスシステム事業

航機
（防衛）

シンガポール

ディフェンスシステム事業

航機
（民間）

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足1

金融ソリューション・セグメント
OHチャネルイノベーションズ　【事業統合の背景】

OKI

顧客接点を取り巻く市場環境の変化

少子高齢化・労働人口不足

人手不足の深刻化

▲29.2%

2050年の生産年齢人口（2021年比）

省人化・効率化ニーズの拡大

キャッシュレス・デジタル化の進展

キャッシュレス化の進展

42.8%

2024年のキャッシュレス決済比率

決済手段の多様化

非対面セルフ化の加速

顧客接点の多様化

店舗・ATM・デジタル

リアル・非対面チャネルの併用拡大

国内市場

- ATM市場は緩やかな減少
- 運営効率化とサービス高度化のニーズ高まり

海外市場

- 紙幣還流型ATMへの需要シフト
- サービス型ニーズの拡大

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足1

金融ソリューション・セグメント
OHチャネルイノベーションズ　【事業統合の目的】

OKI

社会インフラの維持・継続と、新たな成長へ

両社の技術、顧客基盤、製造・運用力などの経営資源を結集

OKIの強み

- モノづくり／製品の価値を運用サービスで向上
- 一貫生産によるQCコントロール

製造ノウハウ・保守網・事務代行を
組み合わせたサービスモデル

日立チャネルソリューションズの強み

- モノづくり／製品の価値をソリューションで向上
- 部品調達型開発による設計・生産ができる
（最新技術の取り込みが容易）

ハードを高機能化する
ソリューションの品揃え

**ATM・店舗を中核とする金融事業を継続・強化、
リアルとデジタルをつなぐ顧客接点領域へ提供価値を拡大**

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足1

金融ソリューション・セグメント

OHチャネルイノベーションズ　【会社概要】

2026年10月1日時点

商号	OHチャネルイノベーションズ株式会社
発足日	2026年10月1日
設立日	2004年10月1日
資本金	86億円
出資比率	沖電気工業株式会社 60%、株式会社日立製作所 40%
従業員数	約1,500名（グループ連結：約3,800名）
所在地	東京都港区芝浦4-10-16
事業内容	ATM等の自動化機器品およびソリューションの企画、開発、製造、販売、保守・運用・監視サービス
URL	https://www.oh-ci.com/ja/

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足1　ディフェンスシステム事業

（2026年度第１四半期決算説明資料　再掲）

- 防衛需要の拡大に対応するため、生産能力増強を進めるとともに、海外案件への対応を着実に推進中

今期実績

▶ 豪州次期汎用フリゲート艦案件を正式受注



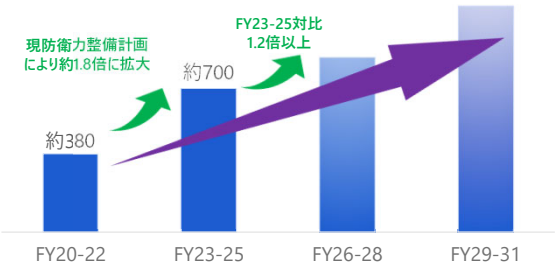
「もがみ」型護衛艦の能力向上型（イメージ）
提供：三菱重工業株式会社

プレスリリース：豪州次期汎用フリゲート艦向け「えい航式パッシブソーナー」の供給契約を三菱重工と締結

▶ 沼津工場に新棟を建設、防衛・海洋分野で需要が拡大する水中音響センサーなどの生産基盤を強化

水中音響（ソーナー/ソノブイ関連）の3ヵ年売上高の推移
[億円]

生産能力を増強、
売上高をさらに拡大
（2027年12月頃 新棟稼働予定）



プレスリリース：沼津工場に新棟を建設し、防衛事業の生産基盤を強化

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足1

アドバンストコンポーネント事業　【高成長市場への挑戦】

OKI

- **CFBなどの先端技術とプリント配線板・ケーブルなどの高品質・高信頼性コンポーネントを活かし、高付加価値製品・ソリューションの創出・提供を通じて、高成長市場へ挑戦**

事業概要

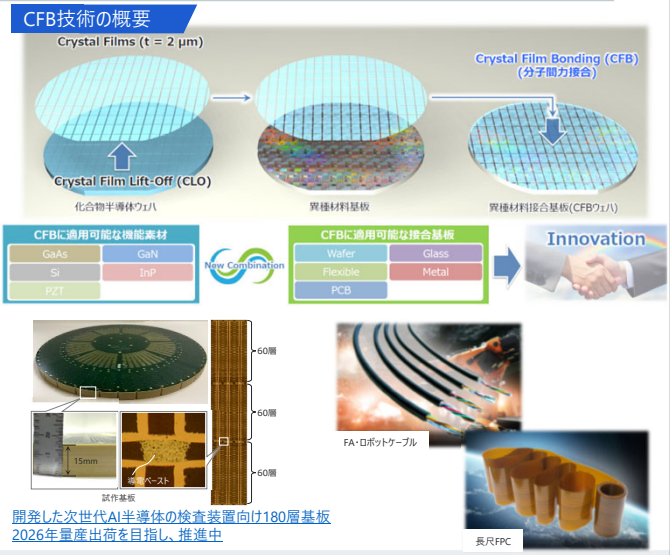
▶ CFB

- CFB技術を活用し、化合物半導体の高付加価値化を推進
- CFBは化合物半導体ウェハから機能層「Crystal Film」のみを剥離し、異種材料基板へ接合する独自技術
- 多様な材料の組み合わせを可能にし、次世代デバイスの創出に貢献

▶ 部品

- プリント配線板（PCB）：
  超高多層基板などの高付加価値PCBを提供し、データセンター、半導体、航空・宇宙市場への展開を加速
- ケーブル：
  高品質・高信頼性が求められるロボットケーブルやFPCなどを提供し、FA産業機器、半導体などの高成長分野への貢献を高める

CFB技術の概要



開発した次世代AI半導体の検査装置向け180層基板
2026年量産出荷を目指し、推進中

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足1

各セグメントの主な製品およびサービス

OKI

パブリック ソリューション

社会インフラソリューション事業
- 道路（ETC／VICS）、航空管制、防災、消防
- 中央官庁業務システム、政府統計システム
- 鉄道発券システム、空港チェックインシステム

ネットワークインフラ事業
- キャリアネットワーク、映像配信、5G・ローカル5G

ディフェンスシステム事業
- 防衛システム（水中音響／情報）
- 航空機用計器

金融 ソリューション

金融ソリューション事業
- ATM、現金処理機、営業店端末
- ATM監視・運用サービス
- 金融営業店システム、事務集中システム
- 予約発券端末、チェックイン端末

保守サービス事業
- 工事・保守サービス

コンポーネント＆ マニュファクチャリング

アドバンストコンポーネント事業
- CFB
- プリント配線板・ケーブル

EMS事業
- 設計・生産受託サービス
- 製造システム（ERP／IoT）

コンポーネントプロダクツ事業
- LEDプリンター
- PBX、ビジネスホン、コンタクトセンター
- ゼロエナジーIoTシリーズ

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足1

上期の主なトピックス（プレスリリース）

	商品・サービス	【関連する事業】
4月	ETC2.0プローブデータを活用した中小企業向けドライバー管理・安全運転支援サービスの実証実験を共同で推進	その他
	沼津工場に新棟を建設し、防衛事業の生産基盤を強化	ディフェンスシステム事業
	駅ホームの危険事象をリアルタイム検知する転落検知システムを本格展開	その他
	OKI、EFINIX社FPGA向け「GigE Vision® Tx v2.0 IP」発売	EMS事業
	AI半導体装置向け「ベアチップ基板実装サービス」を提供開始	EMS事業
	マルチメディア機器向けの新たなEMC試験サービスを開始	その他
	次世代AI半導体の検査装置向け180層・板厚15mmのPCB技術を確立	アドバンストコンポーネント事業
5月	LTSと共同提案したJAXA宇宙戦略基金事業で代表機関に選定	コンポーネントプロダクツ事業
6月	最大7.125GHz対応の車載機器向けEMC耐性試験サービスを国内提供開始	その他
	米Lazarus AI社と戦略パートナーシップ契約を締結	ディフェンスシステム事業
	防衛事業の新拠点を神戸へ開設予定	ディフェンスシステム事業
	AIサーバーなど大型高密度基板の目視検査時間を約8割削減するAI技術を開発	EMS事業
	自動車部品・材料向け「JASO M 609:2024」対応塩水腐食試験サービスを開始	その他
7月	教育DXを支援する運動データ可視化ソリューション「VISMONI」を販売開始	その他
	豪州の次期汎用フリゲート艦向け「えい航式パッシブソーナー」の供給契約を三菱重工と締結	ディフェンスシステム事業
	OKIと静岡市、「海洋関連技術の革新及び社会実装の推進に関する連携協定」を締結	その他
8月	生成AIを活用した次世代コンタクトセンターシステムの新商品「CTstage AIコンシェルジュ」を開発	コンポーネントプロダクツ事業
9月	最新REACH規則対応「SVHC含有量分析サービス」開始	その他
	SiCパワー半導体の「AC-BTI試験サービス」を強化	その他
	OKIクロステック、出雲ファームの既存鶏舎に超軽量フレキシブル太陽光発電システムを納入	保守サービス事業

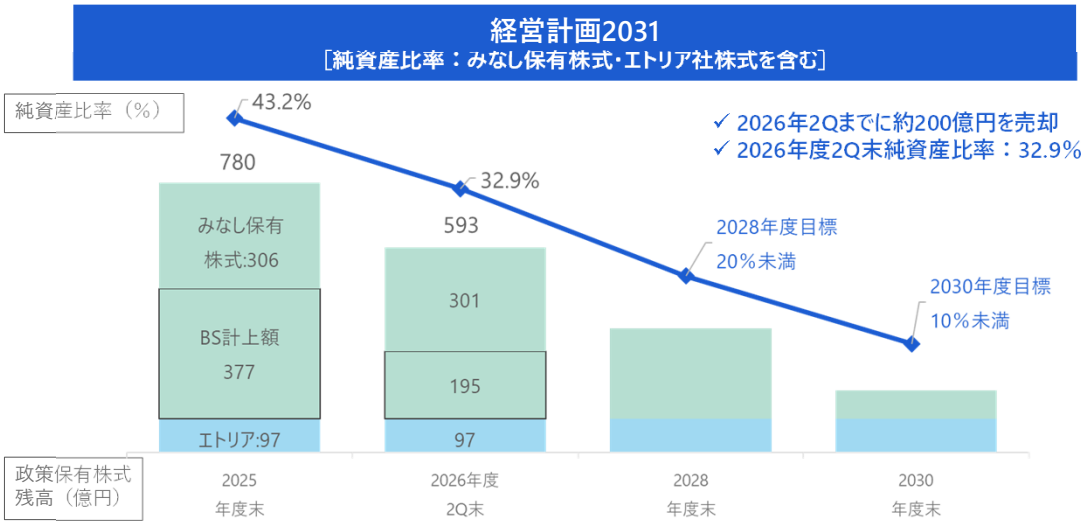
© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足2

政策保有株式縮減の状況

OKI

目標達成にむけて順調に進捗



＜純資産比率の算定における前提＞
- 株式評価額　：26年度2Q末は26年9月末日時価にて算定
- 連結純資産額 ：25年度末連結純資産額にて算定

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足2

セグメント別売上高/営業利益（四半期別推移）

OKI

（単位：億円）		25年度					26年度		26年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	予想 11月5日公表
パブリックソリューション	売上高	230	304	371	558	1,464	282	353	1,470
	営業利益	2	29	55	117	203	11	25	180
	営業利益率(%)	***0.8%***	***9.5%***	***14.9%***	***21.0%***	***13.9%***	***3.9%***	***7.1%***	***12.2%***
金融ソリューション	売上高	315	321	338	438	1,412	274	335	2,070
	営業利益	16	26	20	30	93	2	13	140
	営業利益率(%)	***5.1%***	***8.2%***	***6.0%***	***6.8%***	***6.6%***	***0.7%***	***3.9%***	***6.8%***
コンポーネント＆マニュファクチャリング	売上高	292	308	310	384	1,294	299	329	1,390
	営業利益	△5	△2	2	24	19	△6	6	50
	営業利益率(%)	***△1.8%***	***△0.6%***	***0.6%***	***6.3%***	***1.4%***	***△2.0%***	***1.8%***	***3.6%***
その他	売上高	14	10	9	14	47	7	8	70
	営業利益	△2	△3	△3	△8	△16	△0	△8	△10
消去・本社費	営業利益	△24	△25	△26	△35	△109	△26	△26	△110
連結合計	**売上高**	**851**	**943**	**1,028**	**1,394**	**4,216**	**861**	**1,025**	**5,000**
	営業利益	**△14**	**26**	**49**	**128**	**188**	**△19**	**9**	**250**
	営業利益率(%)	***△1.6%***	***2.7%***	***4.7%***	***9.2%***	***4.5%***	***△2.2%***	***0.9%***	***5.0%***

＊26年度からの開示事業セグメントの変更に基づき、25年度実績は組み替えを行っています。

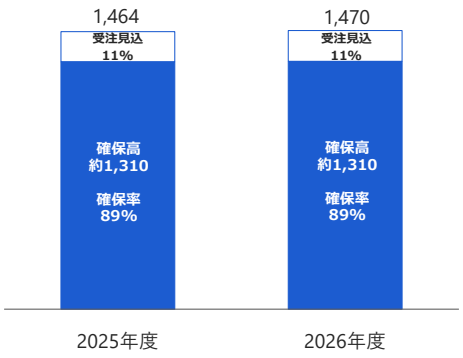
© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足2

2026年度 上期： パブリックソリューション　確保高

（単位：億円）	25年度 通期実績	26年度		対前年	
		前回予想 5月13日公表	今回予想 11月5日公表 (修正なし)	増減差	増減率
売上高	**1,464**	**1,470**	**1,470**	**6**	**(＋0%)**
ディフェンスシステム	515	555	555	40	(＋8%)
社会インフラソリューション	662	575	575	△87	(△13%)
ネットワークインフラ	287	340	340	53	(＋18%)
営業利益	**203**	**180**	**180**	**△23**	**(△11%)**
営業利益率(%)	***(13.9%)***	***(12.2%)***	***(12.2%)***	***(△1.7%)***	

年間売上高確保の状況【10月末時点】 [億円]



© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足2

2026年度 上期： B／S流動・固定内訳

（単位：億円）	26年 3月末	26年 9月末	期首差
流動資産	2,446	**2,275**	△171
固定資産	2,007	**1,840**	△167
資産	4,452	**4,116**	△336
流動負債	1,718	**1,713**	△5
固定負債	930	**750**	△180
負債	2,648	**2,462**	△186
自己資本	1,803	**1,652**	△151
その他	1	**1**	±0
純資産	1,804	**1,653**	△151
負債及び純資産合計	4,452	**4,116**	△336

自己資本比率(%)	40.5	**40.1**	△0.4
DEレシオ(倍)	0.5	**0.5**	±0.0

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足2

2026年度 上期： キャッシュ・フローの概要

（単位：億円）	25年度 上期 実績	**26年度 上期 実績**	対前年 増減差
Ⅰ 営業キャッシュ・フロー	31	**137**	＋106
Ⅱ 投資キャッシュ・フロー	△61	**48**	＋109
フリー・キャッシュフロー(Ⅰ＋Ⅱ)	△30	**185**	＋215
Ⅲ 財務キャッシュ・フロー	△46	**△143**	△97

固定資産取得額	82	**94**	＋12
減価償却費	76	**78**	＋2

（単位：億円）	26年3月末 実績	**26年9月末 実績**	期首差
現金および現金同等物の残高	358	**397**	＋39

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足2

2026年度 上期： 投資

投資等 （単位：億円）	25年度 上期 実績	**26年度 上期 実績**	対前年 増減差
設備投資　（有形＋無形）	63	**60**	△3
減価償却費（有形＋無形）	65	**66**	+1
研究開発投資	42	**37**	△5

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足2

2026年度 業績予想

- ATM等の自動化機器事業の統合効果を織り込み、上方修正
- 守りから攻めへ経営シフトする「経営計画２０３１」の初年度増収増益、営業利益率5%以上の目標

（単位：億円）	25年度 通期実績	26年度 前回予想 5月13日公表	26年度 今回予想 11月5日公表	対前年 増減差	対前年 増減率	対前回予想 増減差	対前回予想 増減率
売上高	4,216	4,400	**5,000**	＋784	（＋19%）	＋600	（＋14%）
営業利益	188	220	**250**	＋62	（＋33%）	＋30	（＋14%）
営業利益率(%)	*(4.5%)*	*(5.0%)*	***(5.0%)***	*(＋0.5%)*		*(±0.0%)*	
経常利益	208	220	**230**	＋22	（＋11%）	＋10	（＋5%）
親会社株主に帰属する当期純利益	215	180	**180**	△35	（△16%）	±0	（±0%）
※一過性要因除く 親会社株主に帰属する当期純利益	*164*	*180*	***180***	*＋16*	*（＋10%）*	*±0*	*（±0%）*
ＲＯＥ(%)	13.2%	10.0%	**10.0%**	（△3.2%）		（±0.0%）	
※一過性要因を除くＲＯＥ(%)	*10.1%*	*10.0%*	***10.0%***	*(△0.1%)*		(±0.0%)	
自己資本比率(%)	40.5%	40.0%	**40.0%**	(△0.5%)		(±0.0%)	
１株当たり配当金(円)	65	65	**65**	±0	（±0%）	±0	（±0%）

※一過性要因（エトリア社参画に伴う特別利益）を除いた実質的な数値

平均レート	25年度実績	26年度予想
USD	150.8円	157.9円
EUR	174.8円	182.3円

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足3

セグメント別売上高内訳（四半期別推移）

（2026年度第１四半期決算説明資料　再掲）

（単位：億円）			23年度					24年度					25年度				
			1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
パブリックソリューション	**売上高**		**199**	**209**	**256**	**313**	**977**	**204**	**237**	**301**	**621**	**1,362**	**230**	**304**	**371**	**558**	**1,464**
		ディフェンンスシステム	64	67	84	104	319	69	80	97	305	552	80	99	133	203	515
		社会インフラソリューション	65	80	106	143	395	81	106	133	227	546	101	137	170	253	662
		ネットワークインフラ	69	62	66	66	263	54	51	71	88	264	49	68	68	102	287
金融ソリューション	**売上高**		**262**	**350**	**498**	**621**	**1,732**	**432**	**396**	**434**	**444**	**1,707**	**315**	**321**	**338**	**438**	**1,412**
		ハード/ソリューション	103	196	291	403	992	269	205	216	248	938	133	134	136	216	619
		サービス事業	160	155	207	218	740	163	190	219	197	769	182	187	202	222	793
コンポーネント＆マニュファクチャリング	**売上高**		**345**	**363**	**355**	**405**	**1,468**	**336**	**356**	**346**	**375**	**1,413**	**292**	**308**	**310**	**384**	**1,294**
		アドバンストコンポーネント	77	74	67	67	285	65	71	70	75	280	78	80	86	95	339
		コンポーネントプロダクツ	170	179	185	200	734	179	188	191	200	758	156	166	159	200	681
		EMS	98	111	103	137	449	92	97	86	100	375	58	62	65	89	274

＊26年度からの開示事業セグメントの変更に基づき、23年度-25年度実績は組み替えを行っています。

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

補足3

主要KPIの推移（年度別）

（単位：億円）	22年度 通期実績	23年度 通期実績	24年度 通期実績	25年度 通期実績	26年度 通期予想 11月5日公表
売上高	3,691	4,219	4,525	4,216	**5,000**
営業利益	24	187	186	188	**250**
営業利益率(%)	*(0.7%)*	*(4.4%)*	*(4.1%)*	*(4.5%)*	***(5.0%)***
※一過性要因除く営業利益	*24*	*146*	*225*	*191*	***250***
※同営業利益率(%)	*(0.7%)*	*(3.5%)*	*(5.0%)*	*(4.5%)*	***(5.0%)***
経常利益	△3	183	168	208	**230**
親会社株主に帰属する当期純利益	△28	256	125	215	**180**
ＲＯＥ(%)	△2.7%	21.4%	8.7%	13.2%	**10.0%**
自己資本比率(%)	25.4%	33.3%	35.4%	40.5%	**40.0%**
１株当たり配当金(円)	20	30	45	65	**65**

経営計画２０３１ OKI創業150周年 2031年度目標	
格付	A
売上高	6,000億円以上
営業利益率	7%以上
ROE	10%以上
自己資本比率	40%以上
配当性向	35%以上

※一過性要因（過去の中国ATM案件の売上債権に係る貸倒引当金戻入・計上）を除いた実質的な営業損益

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.

ご注意

※本資料における業績予想および事業計画などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって、実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：
各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

© Copyright 2026 Oki Electric Industry Co., Ltd.